VSCode2

■TeX

◆事前準備

- · 「設定 |
- ・math を検索
- 数式のレンダリング

£\$\$

Markdown > Math: Enabled

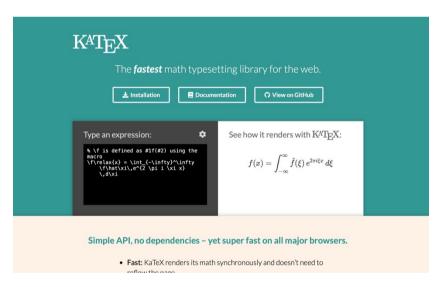
✓ 組み込みのマークダウン プレビューでの数式のレンダリングを有効/無効にします。

◆新規ファイル

保存拡張子は「.md」

◆表示

VSCode の数式表示機能は「Ka TeX」のライブラリを使用しているので、詳しくはサイトを採用すること。



- ・インラインなら\$ひとつで挟む
- ・ディスプレイ数式表示なら\$\$で囲む



■記述

◆分数

※MAC の場合、バックスラッシュは「option+¥」。常用するのなら「設定」の「キーボード」内にある「テキスト入力」 – 「入力ソース」で「¥」使用時の設定を\に変更しておく。

\frac{分子}{分母}



◆べき乗

べき乗の記号「~」を使う

◆三角関数

各表示の前に「\」をつける π は\pi θ は\theta

\$\$
y=\sin \theta \\

「\\」は改行表示

◆ルート

\sqrt [べき数] {ルートの内容}

\$\$
y=\sqrt{\frac{1}{3x^2}}\\

◆総和

\sum

上付、下付の指定

\sum_{下付}^ {上付}

上下の区別は「^」「_」の記号なので順番は入れ替え可。ひと文字ならば {} は省略可能

$$y=\sum_{i=0}^{i=0}^{i}$$

◆対数

\log {底} 值

◆極限

\lim_{ 值 1 \to 值 2 }

$$y=\lim_{n \to 0} f(x)$$

◆微分

そのまま記述ができる

◆積分

\int_下付 ^上付

◆行列

\begin{matrix}

値1 & 値2・・・・/

値1 & 値2・・・\\

\end{matrix}

- ・() によるもの 最後が\end{pmatrix}
- ・{} によるもの 最後が\end{bmatrix}
- ・| |によるもの 最後が\end{vmatrix}

\$\$

\begin{matrix}

1 & 0 & 1 \\

0 & 1 & 0 \\

◆ギリシャ文字

各英文字読みの前に「\」をつける

小文字	大文字	読み	読み	小文字の主な用途
α	Α	alpha	アルファ	角度,係数,温度係数,減衰率
β	В	beta	ベータ	角度,係数,位相定数,帰還率
r	Γ	gamma	ガンマ	角度,係数
δ	Δ	delta	デルタ	微小変化,密度,損失角
ε	Е	epsilon	イプシロン	誘電率
ζ	Z	zeta	ゼータ(ツェータ)	減衰定数
η	Н	eta	イータ	効率
θ	Θ	theta	シータ	角度,位相,熱抵抗
L	I	iota	イオタ	
κ	K	kappa	カッパ	磁化率
λ	Λ	lambda	ラムダ	波長
μ	М	mu	ミュー	透磁率
ν	N	nu	ニュー	周波数
ξ	Ξ	xi	クサイ(グザイ)	
0	0	omicron	オミクロン	
π	П	pai	パイ	円周率
ρ	Р	rho	\Box -	抵抗率,体積電荷密度
σ	Σ	sigma	シグマ	導電率,表面電荷密度
au	Т	tau	タウ	時定数,時間,トルク
υ	Υ	upsilon	ウプシロン	
ϕ	Φ	phi	ファイ	磁束,位相,角度
χ	χ	chi	カイ	
ψ	Ψ	psi	プサイ	位相,角度,電束
ω	Ω	omega	オメガ	角速度,角周波数